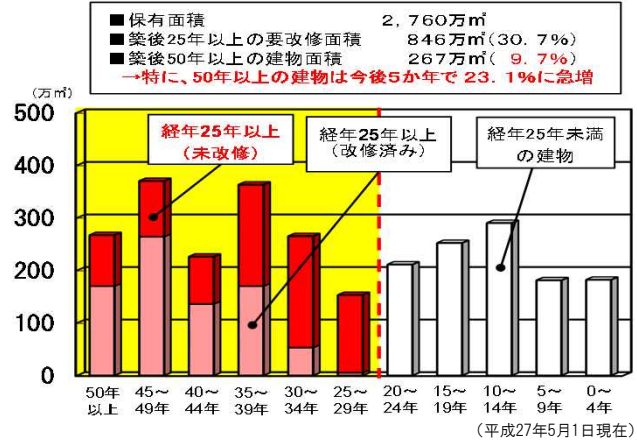


# 第4次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成28～32年度）

## 国立大学等の施設が抱える課題

- 施設、基幹設備（ライフライン）の老朽化による教育研究基盤の弱体化
- 国立大学等の機能強化等への対応
- 地球環境問題への対応 など



今後の国立大学法人等施設の整備充実に係る調査研究協力者会議  
(平成28年3月報告)

## 第5期科学技術基本計画 (平成28年1月22日閣議決定)

国が策定する国立大学法人等の全体の施設整備計画に基づき、安定的・継続的な支援を通じて、計画的・重点的な施設整備を進める。

# 第4次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成28～32年度）

平成28年3月29日 文部科学大臣決定

## 重点整備

### 安全・安心な教育研究環境の基盤の整備

- 耐震対策（非構造部材を含む）や防災機能強化に配慮しつつ、長寿命化改修を推進
- 老朽化した基幹設備（ライフライン）を更新

### 国立大学等の機能強化等変化への対応

- 大学等の機能強化に伴い必要となる新たなスペースを確保
- 長寿命化改修に合わせ、機能強化に資する整備を実施
  - ・ラーニング・コモンズやアクティブ・ラーニング・スペースの導入を推進
  - ・地域産業を担う地域人材の育成など、地域と大学の連携強化のための施設整備を実施 等
- 大学附属病院の再開発整備の着実な実施

### サステイナブル・キャンパスの形成

- 今後5年間でエネルギー消費原単位を5%以上削減
- 社会の先導モデルとなる取組を推進

## 推進方策

### 戦略的な施設マネジメントの取組の推進

- ①施設マネジメントの推進のための仕組みの構築
  - 経営者層のリーダーシップによる全学的体制で実施
- ②施設の有効活用
  - 経営的な視点での戦略的な施設マネジメントの下、施設の有効活用を積極的に行う
  - 保有面積の増大は、施設管理コストの増大につながるため、保有建物の総面積抑制を図る
- ③適切な維持管理
  - 予防保全により良好な教育研究環境を確保
  - 光熱水費の可視化等による維持管理費等の縮減や必要な財源の確保のための取組を進める

### 多様な財源を活用した施設整備の推進

大学等は、国が施設整備費の確保に努める一方、資産の有効活用を含め、多様な財源を活用した施設整備を一層推進

## 整備目標

老朽改善整備  
約475万㎡

狭隘解消整備  
約40万㎡

大学附属病院の再生  
約70万㎡

所要経費：約1兆3,000億円

質の高い、安全な教育研究環境の確保